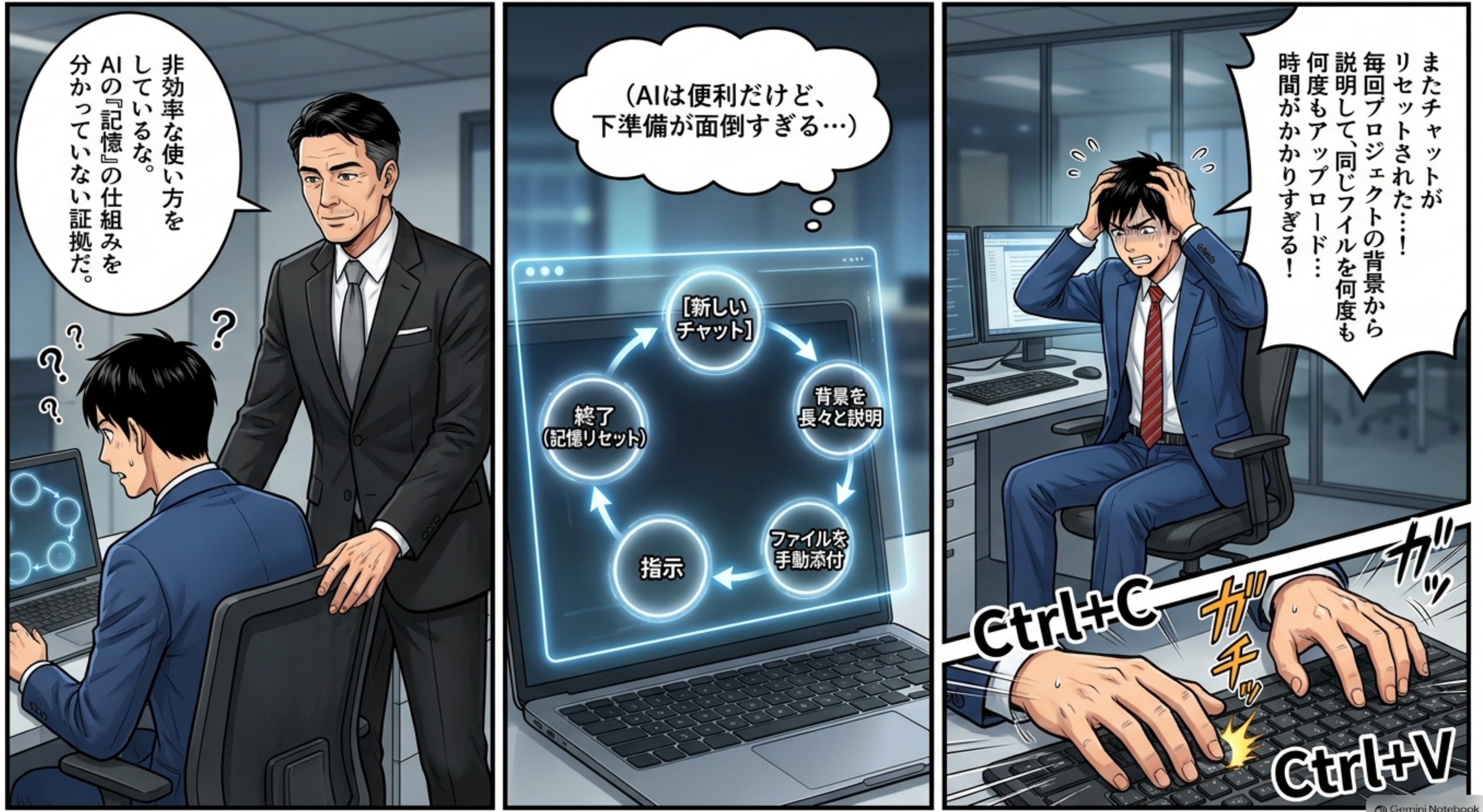
【完全ガイド】Claudeを「ただのチャット」から「最高の同僚」に変える方法

～プロジェクトの全体像を一瞬で共有する3つの魔法～

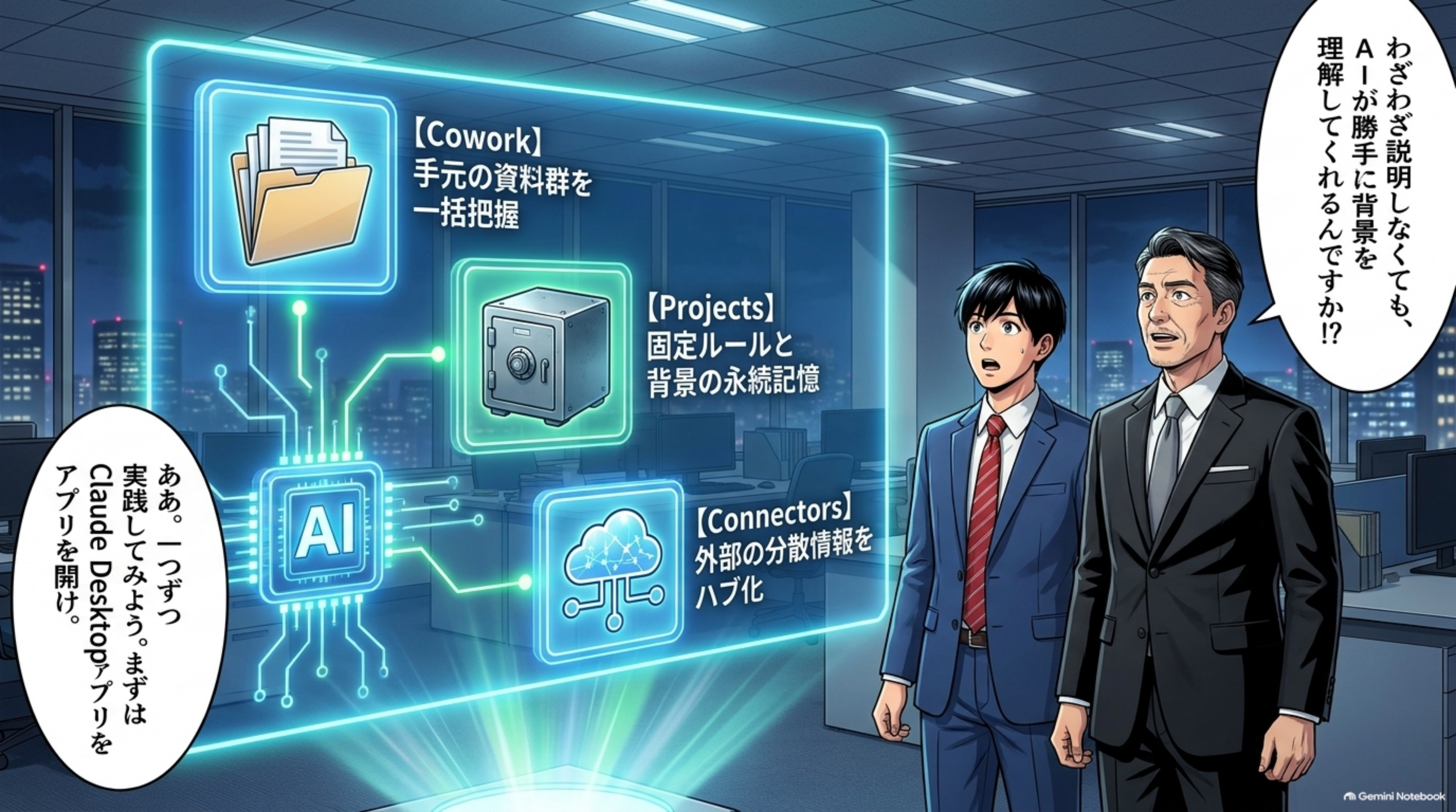
ビジネス漫画版

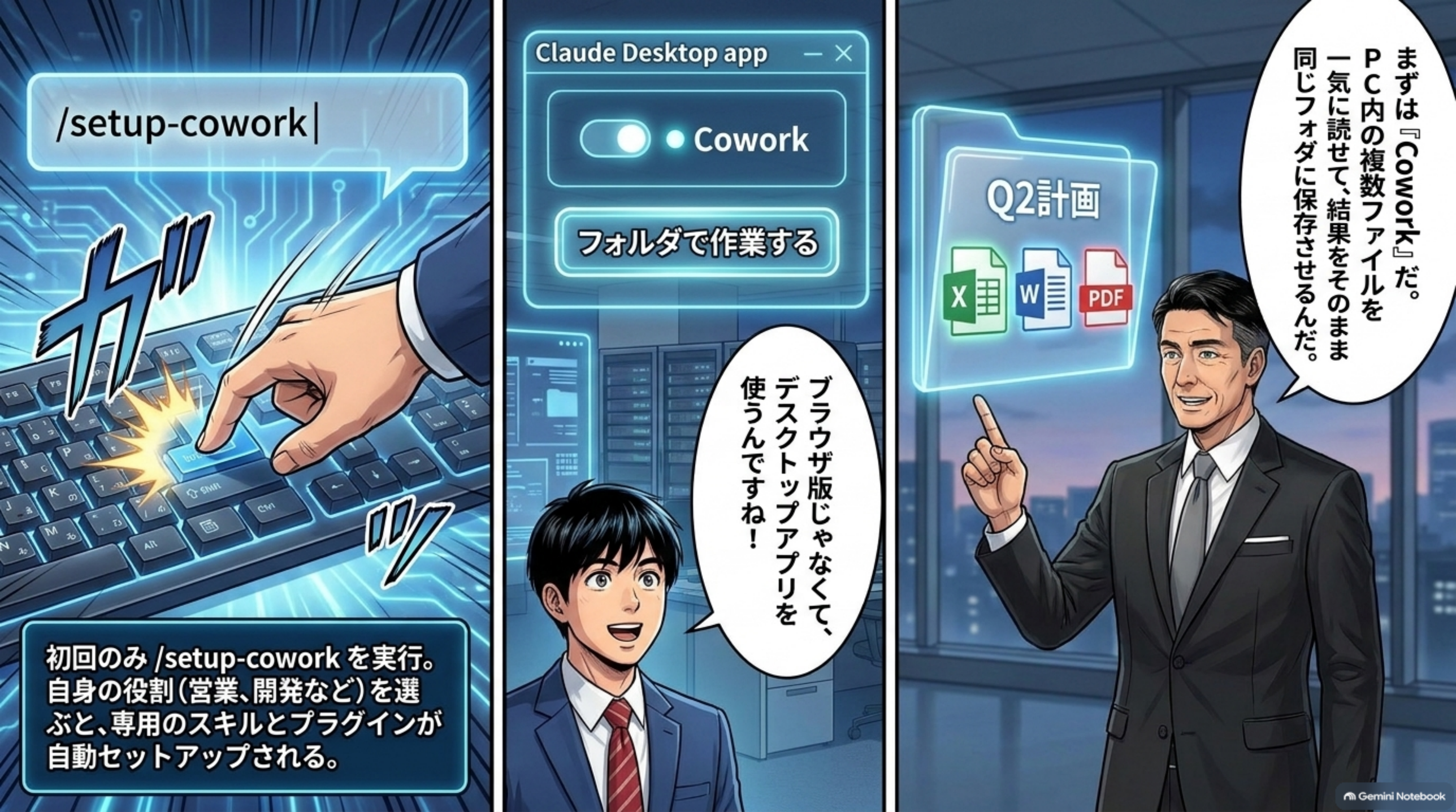


Gemini Notebook


非効率な使い方をしているな。
AIの『記憶』の仕組みを分かっていない証拠だ。
（AIは便利だけど、下準備が面倒すぎる…）
【新しいチャット】
背景を長々と説明
ファイルを手動添付
指示
終了（記憶リセット）
またチャットがリセットされた…！
毎回プロジェクトの背景から説明して、同じファイルを何度も何度もアップロード…
時間がかかりすぎる！
Ctrl+C
ガッ
ガチッ
Ctrl+V

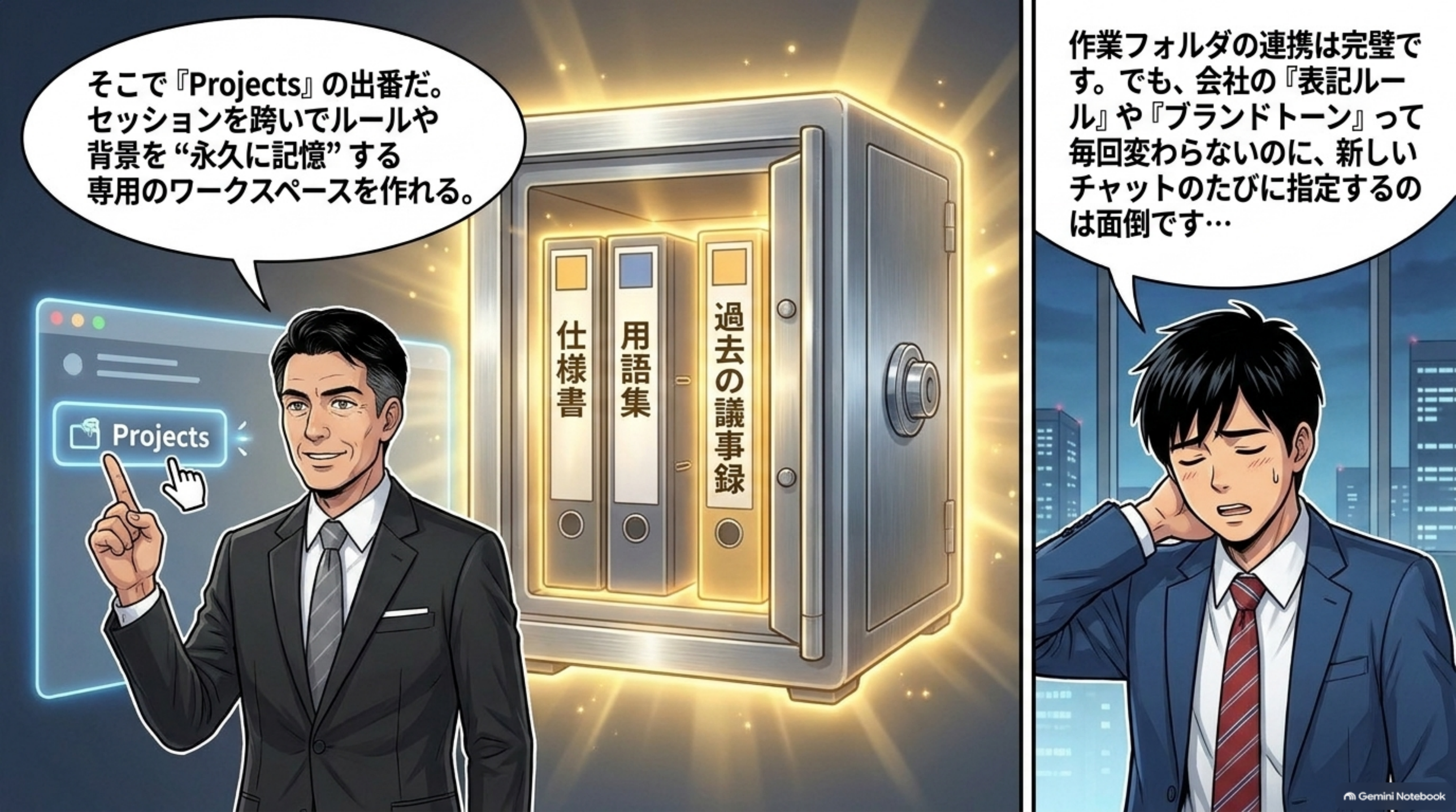

【解決策：全体像の共有】
プロジェクト全体図
全体図
関連資料
関連資料
過去ログ
要件定義
【従来：単一チャット】
AIが一度に処理できる情報の範囲を『コンテキストウィンドウ（作業メモリ）』と呼ぶ。人間の作業デスクと同じだ。
毎回ゼロから資料を初めから『全体像』が共有された広い環境を与えれば、AIは単なるチャット相手から『有能な同僚』に化けるぞ。
Gemini Notebook


【Cowork】
手元の資料群を
一括把握
【Projects】
固定ルールと
背景の永続記憶
【Connectors】
外部の分散情報を
ハブ化
AI
わざわざ説明しなくても、
AIが勝手に背景を
理解してくれるんですか!?
ああ。一つずつ
実践してみよう。まずは
Claude Desktopアプリを
アプリを開け。
Gemini Notebook

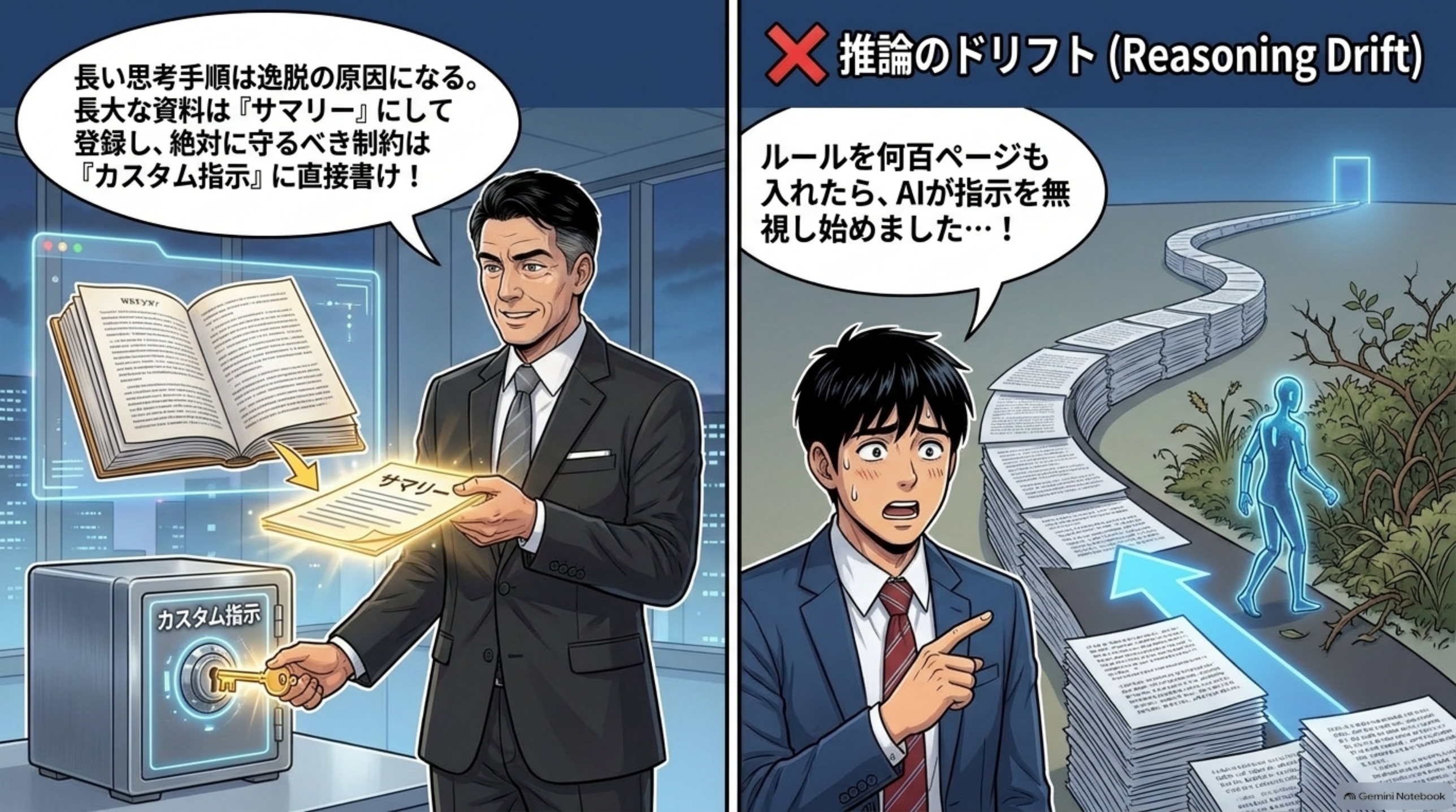

/setup-cowork
ガ
ッ
初回のみ /setup-cowork を実行。
自身の役割（営業、開発など）を選
ぶと、専用のスキルとプラグインが
自動セットアップされる。
Claude Desktop app
Cowork
フォルダで作業する
ブラウザ版じゃなくて、
デスクトップアプリを
使うんですね！
Q2計画
X
W
PDF
まずは『Cowork』だ。
PC内の複数ファイルを
一気に読ませて、結果をそのまま
同じフォダに保存させるんだ。
Gemini Notebook


このフォルダ内の調査結果を
1ページのブリーフに
まとめてください。
ガシッ
勇倉者者（26歳）
forecast-model.xlsx
q1-retro-notes.docx
board-deck-draft.pdf
brief.docx
Q2計画
えっ！
ファイルを1つずつ開いて
コピペしてないのに、
AIが自分で新しいファイル
を作って保存した!?
指示を理解し、
自律的に動く。
これが協働（Cowork）だ。
Gemini Notebook

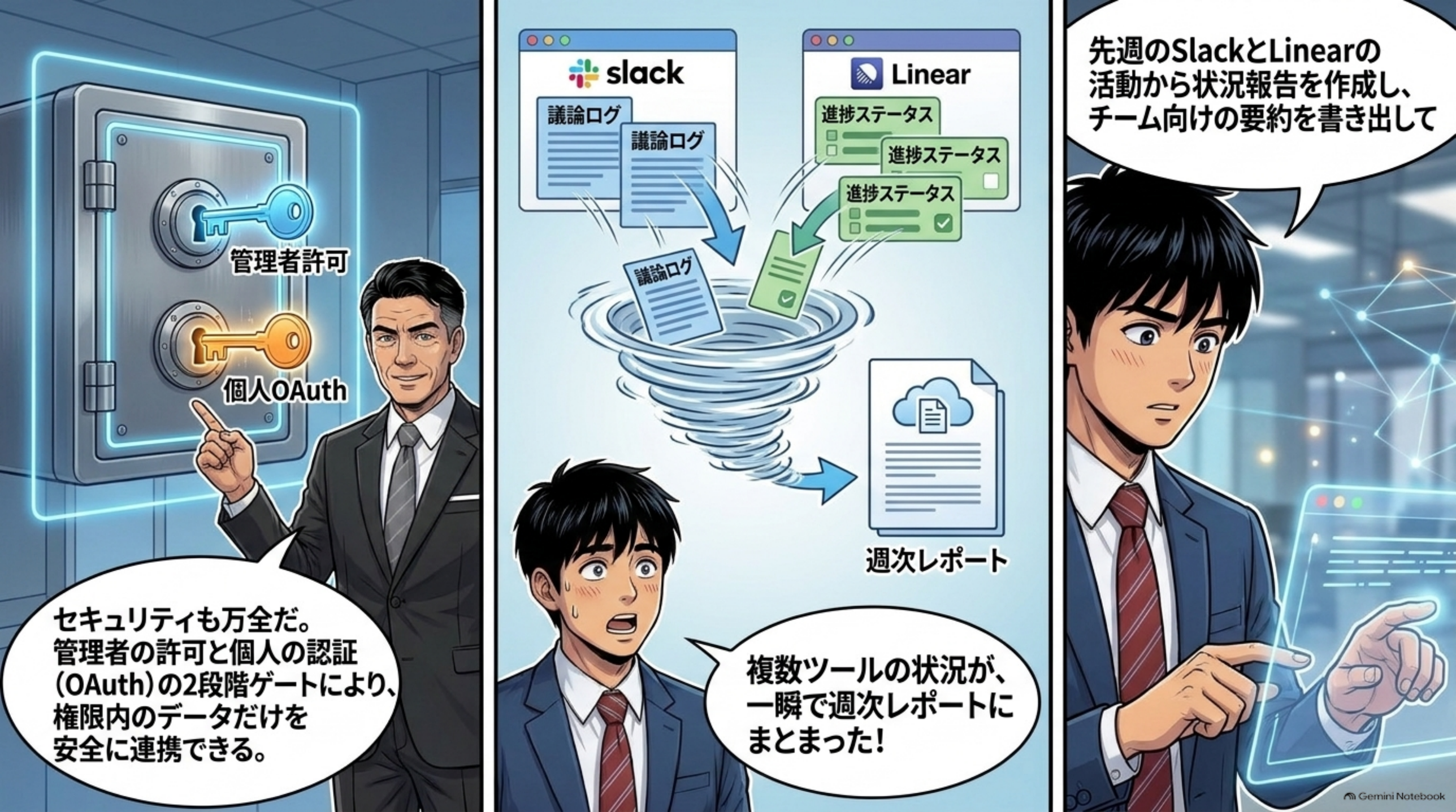

情報が多すぎると、資料の中ほどにある重要ルールを見落とす。
関連性の高い資料だけを集めた『専用サブフォルダ』を繋ぐのが成功のコツだ。
Q2計画
参照資料
会議
予算案
...
❌中間で迷子になる（Lost in the Middle）
待て！
便利だ！PC内の全部のファイルを突っ込んじゃえ！
Gemini Notebook

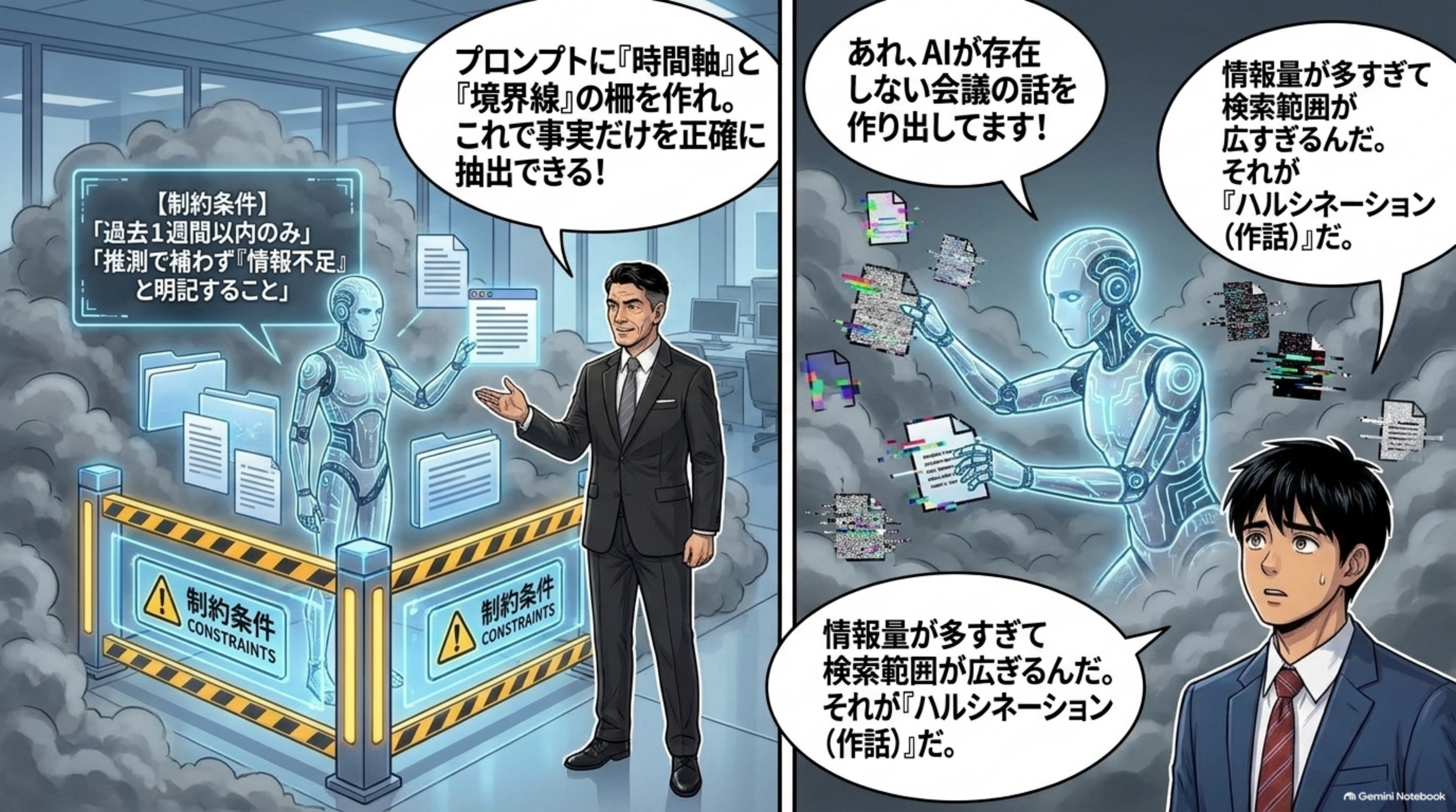

そこで『Projects』の出番だ。
セッションを跨いでルールや
背景を“永久に記憶”する
専用のワークスペースを作れる。
Projects
仕様書
用語集
過去の議事録
作業フォルダの連携は完璧です。でも、会社の『表記ルール』や『ブランドトーン』って毎回変わらないのに、新しいチャットのたびに指定するのは面倒です…
Gemini Notebook

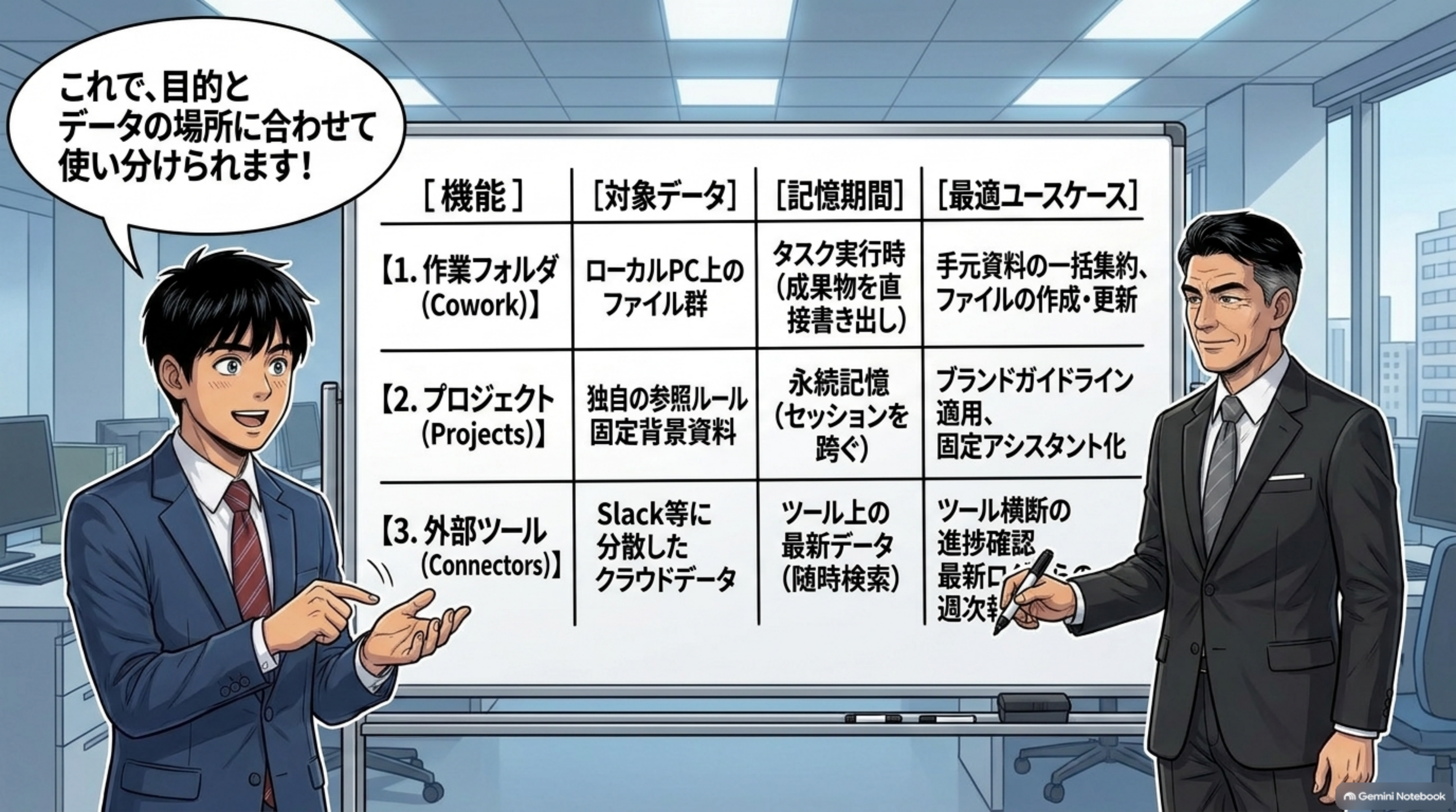

【表側の実行】
【裏側の設定】
AI
〇〇機能の注意点は？
すごい！背景を一切説明していないのに、自社ルールを完全に理解した答えが返ってきた！
カスタム指示 (Instructions)
あなたは専任アシスタントです。
必ず仕様書を参照し、結論から
箇条書きで回答すること。
専門用語は補足すること。
ここに『カスタム指示』をカスタム指示』を設定し、絶対に守るべきルールを書き込むんだ。
Gemini Notebook

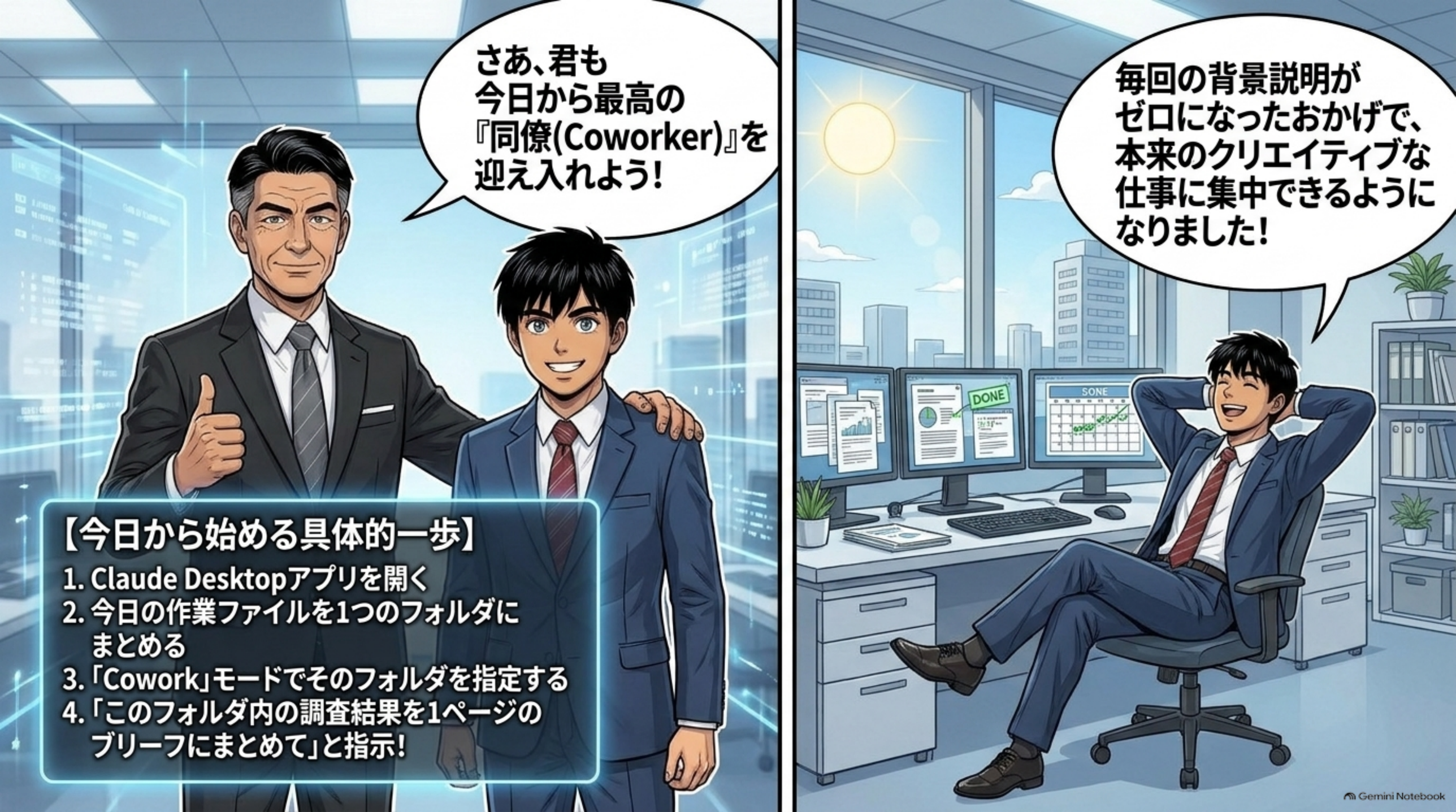

長い思考手順は逸脱の原因になる。
長大な資料は『サマリー』にして
登録し、絶対に守るべき制約は
『カスタム指示』に直接書け！
サマリー
カスタム指示
❌ 推論のドリフト (Reasoning Drift)
ルールを何百ページも
入れたら、AIが指示を無
視し始めました…！
Gemini Notebook


Island 1
（議論・発言ログ）
Linear
Island 2
（課題・タスク状況）
Island 3
（共有資料）
Claude
手元の資料と
固定ルールは完璧です。
でも、Slackの最新の議論や、Linearの進捗状況はどうすれば…？
情報を迎えに行くのではない。
Claudeの『コネクタ機能』を
使って、クラウド上の分散情報を
一カ所に集約させるんだ。
Gemini Notebook


管理者許可
個人OAuth
セキュリティも万全だ。
管理者の許可と個人の認証
(OAuth)の2段階ゲートにより、
権限内のデータだけを
安全に連携できる。
slack
議論ログ
議論ログ
議論ログ
Linear
進捗ステータス
進捗ステータス
進捗ステータス
週次レポート
複数ツールの状況が、
一瞬で週次レポートに
まとまった!
先週のSlackとLinearの
活動から状況報告を作成し、
チーム向けの要約を書き出して
Gemini Notebook


プロンプトに『時間軸』と『境界線』の柵を作れ。これで事実だけを正確に抽出できる！
【制約条件】
「過去1週間以内のみ」
「推測で補わず『情報不足』と明記すること」
制約条件
CONSTRAINTS
制約条件
CONSTRAINTS
あれ、AIが存在しない会議の話を作り出してます！
情報量が多すぎて検索範囲が広すぎるんだ。それが『ハルシネーション（作話）』だ。
情報量が多すぎて検索範囲が広ぎるんだ。それが『ハルシネーション（作話）』だ。
Gemini Notebook


これで、目的と
データの場所に合わせて
使い分けられます！
［機能］
［対象データ］
［記憶期間］
［最適ユースケース］
【1. 作業フォルダ (Cowork)】
ローカルPC上のファイル群
タスク実行時（成果物を直接書き出し）
手元資料の一括集約、ファイルの作成・更新
【2. プロジェクト (Projects)】
独自の参照ルール固定背景資料
永続記憶（セッションを跨ぐ）
ブランドガイドライン適用、固定アシスタント化
【3. 外部ツール (Connectors)】
Slack等に分散したクラウドデータ
ツール上の最新データ（随時検索）
ツール横断の進捗確認
Gemini Notebook


さあ、君も
今日から最高の
『同僚(Coworker)』を
迎え入れよう!
【今日から始める具体的一歩】
1. Claude Desktopアプリを開く
2. 今日の作業ファイルを1つのフォルダに
まとめる
3.「Cowork」モードでそのフォルダを指定する
4.「このフォルダ内の調査結果を1ページの
ブリーフにまとめて」と指示!
毎回の背景説明が
ゼロになったおかげで、
本来のクリエイティブな
仕事に集中できるように
なりました!
DONE
Gemini Notebook